

# 通風実験棟

Laboratory for Cross Ventilation

## ● 実験棟概要

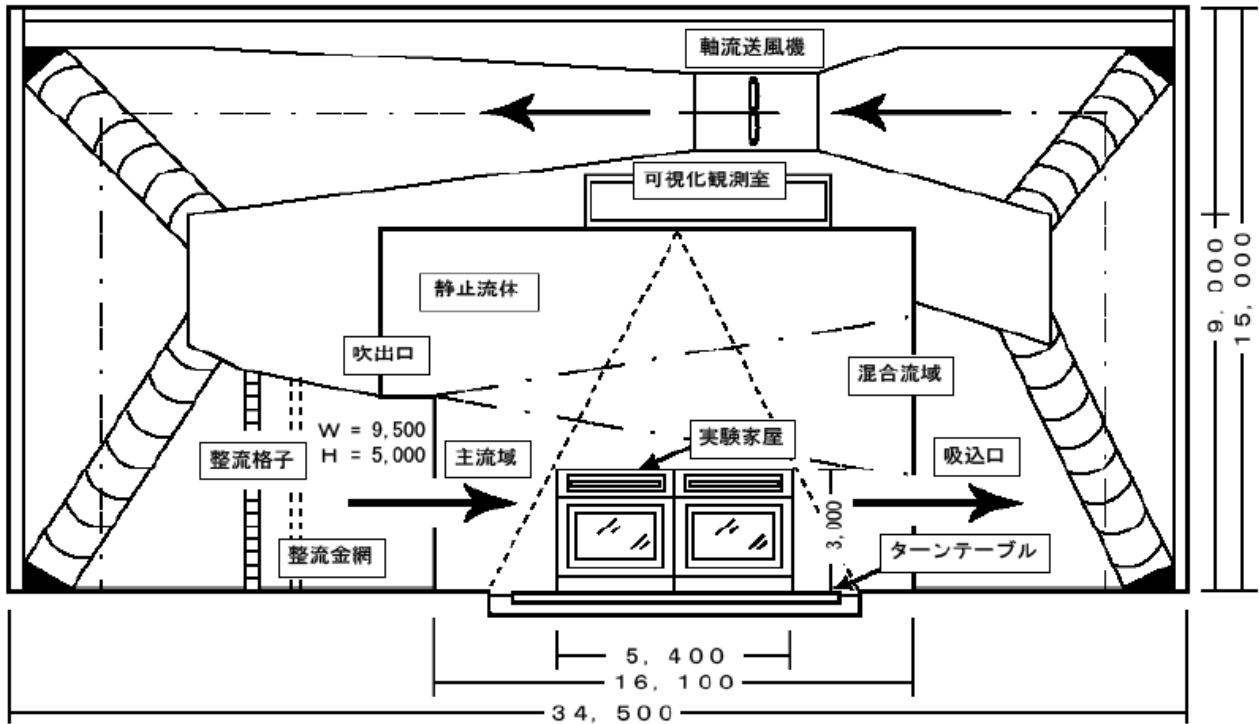
通風は、“風通しのよい家”という言葉に代表されるように、春夏秋には、居住環境を快適に保つために不可欠な性能と言えます。また、自然との共生を目指す建築にとって、“通風”は重要なキーワードとなっています。

通風実験棟では、建物の向きや開口部・間取りを様々に変えることのできる実大の建物と大型の専用風洞を用います。小さな建物模型による通風実験では、建物内部の気流を把握することが困難でしたが、本施設では“実大の建物”を使うことで、内外の気流を詳細に研究することができます。

わが国は先進諸国の中でも温暖・湿潤な国であり、通風の重要性が高い国です。本施設での研究成果を、通風設計手法として実用化し、わが国のみならず、東南アジアなど通風が重要である国々にも役立つものとすることをめざしています。



通風実験棟内部写真(風洞の吹き出し口(奥)と測定部のターンテーブル)



通風実験棟断面図



ターンテーブル上に試験体を設置した状態